

OUI Inc.

NEWSLETTER

2022年12月15日 / Vol 7

OUI Inc.がタイで学会発表を行いました！

バンコクで開催されました"The 8th Asia Cornea Society Biennial Scientific Meeting"で、代表の清水が症例報告を行いました。



2022年11月25日、タイ、バンコクで開催されました"The 8th Asia Cornea Society Biennial Scientific Meeting"で、代表の清水が、"A single case of Stevens-Johnson syndrome dry eye that recovered by telemedicine"というタイトルで、症例報告を行いました。

Stevens-Johnson 症候群 (SJS) は、重症のドライアイ (DED) を引き起こす自己免疫疾患です。治療は抗炎症療法ですが、日本での発症率は年間100万人あたり約3.1人と推定されており、一般外来ではあまり見かけない珍しい疾患です。今回、携帯・記録可能なOUI Inc.のSmart Eye Cameraを用いて、立川病院眼科と慶應義塾大学医学部眼科のDED外来を結ぶDtoD (Doctor to Doctor) 遠隔診断を実施しました。DtoD遠隔診断システムを用いて早期に専門的な治療介入を行い、良好な経過を示したSJS関連DEDの1例を確認しました。

また、タイではさまざまな眼科医・医療関係者の方々と会談を行いました。現地の大学とコラボレーションした共同研究について、眼科医の先生方から前向きな意見を沢山いただくことができました！また、現地のヘルスケア関係のスタートアップ企業ともミーティングを行い、Smart Eye Cameraを用いたタイでの遠隔診療について、とてもポジティブなフィードバックを頂きました！今後、具体的な協業に向けて、議論を進めていきます！今後の展開にご期待ください！！

今回のタイでの学会発表とミーティングを通じて、タイでも多くの方々にSECの可能性を感じて頂くことができました！OUI Inc.は今後も、現地の眼科医・医療関係者の方々と連携し、タイ含む世界の予防可能な失明・視覚障害の克服のため挑戦を続けていきます！

SEC
Smart Eye Camera

DtoD 遠隔診断医療機関

- Tachikawa Hospital
- Keio University School of Medicine





OUI Inc.では協働して実証を進めて下さるパートナーを募集中です！

OUI Inc.は、Smart Eye Cameraを使って、眼科医療へのアクセスが難しい、途上国の農村や医療過疎地域などの患者さんに眼科の診断を届け、現地の眼科医・医療機関と連携して治療までつなげるモデルを共創することで、2025年までに世界の失明を半分にすることをビジョンに掲げています。

これまでアジア・アフリカ・南米を始め、世界20か国以上でパイロット実証を進めています。日本では医療機器登録済みで、眼科クリニックや、離島や地方の医療過疎地域の診療所、訪問診療クリニック等での導入が進んでいます。

より多くの患者さんに眼科医療を届けるために、日本でも世界でも、各地の医療現場で活躍されている先生方・医療従事者の方々と連携して、Smart Eye Cameraを使った眼科の遠隔診断モデルの実証を、進めていきたいと思っています。

ご興味のある方は、是非ご連絡いただけますと幸いです！

担当窓口：

Department of Global Business, OUI Inc.

中山 慎太郎: p.shintaro@ouiinc.jp

石丸 莉奈: ri.univ8@gmail.com

OUI Inc.ウェブサイト: www.ouiinc.jp

OUI Inc. Medium（最新の活動状況はこちらから）：

<https://ouiinc.medium.com/>

